

技術的能力 添付資料の比較

1.15 事故時の計装に関する手順等

No.	玄海3 / 4号	東二	東二資料の有無	採用可否	要否理由・記載方針
1	重大事故等対処設備と基準規則の対応表	審査基準，基準規則と対処設備との対応表	有	—	—
2	多様性拡張設備仕様	—	無	○	資料追加作成「自主対策設備仕様」
3	重大事故等対処に係る監視事項	重大事故等対処に係る監視事項	有	—	—
4	重要計器及び重要代替計器の概要系統図	—	無	○	資料追加作成「重要計器及び重要代替計器の概要系統図」 ⇒次回(9/15)ヒアリングまでに整理いたします。
5	計装設備の全体像について	—	無	○	資料追加作成「計装設備の全体像について」
6	代替パラメータにて重大事故等対処時の判断基準を判断した場合の影響について	代替パラメータにて重大事故等対処時の判断基準を判断した場合の影響について	有	—	—
7	原子炉容器の水位の推定手段について	—	無	×	設備の相違。 58条要求の原子炉水位を直接計測する計器が設定されていたかっ際の説明資料(現在はSA設定)。東2は原子炉水位を当初より重大事故等対処設備に設定しているため不要。
8	炉心出口温度の監視について	—	無	×	設備の相違。 耐震性を有さない当該計器が常用系電源負荷であることに対する監視性向上を目的とした説明資料。東2は原子炉圧力容器内の温度である原子炉圧力容器表面温度を重大事故等対処設備に設定しているため不要。
9	可搬型計測器による監視パラメータ計測手順	重大事故等対策の成立性 ・可搬型計装器の接続操作	有	—	—
10	可搬型バッテリーによる炉外核計装保護盤への給電手順	—	無	×	設備の相違。 可搬型バッテリーによる中性子源領域中性子束，中間領域中性子束及び出力領域中性子束への給電手順を記載。東2は起動領域計装及び平均出力計装の電源は所内常設直流電源設備から給電する手順を1.14に記載。
11	可搬型バッテリーによる事故時放射線監視盤への給電手順	—	無	×	設備の相違。 可搬型バッテリーによる格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)及び同エリアモニタ(高レンジ)の給電手順を記載。東2は格納容器雰囲気放射線モニタ(D/W)，(S/C)の電源は所内常設直流電源設備から給電する手順を1.14に記載。
12	可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理	可搬型計測器の必要個数整理	有	—	—
13	原子炉格納容器内冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について	—	無	×	設備の相違。 格納容器内冷却状況の確認手段として，可搬型温度計による格納容器再循環ユニット入口及び出口配管温度の計測について説明。東2は常設の格納容器温度，圧力にて監視する手順を整備している。
14	手順のリンク先について	—	無	○	資料追加作成「手順のリンク先について」
15	主要パラメータと代替パラメータの相関関係による推定について(具体例)	—	無	○	資料追加作成「主要パラメータと代替パラメータの相関関係による推定について(具体例)」 ⇒次回(9/15)ヒアリングまでに整理いたします。
—	—	重大事故等の対処に必要なパラメータの選定	有	—	—